

すすらんのさと



題字
大木交七さん(90)

2010年 10月号 No. 115

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすすらんの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

百歳を目指して

敬老会

涼しい秋風がそよぐ9月17日(金)敬老会が開催されました。今年は、入所者66名(短期入所利用者含む)、デイサービス利用者139名、小規模多機能型居宅介護利用者9名の敬老者が式典に参加されました。



謝辞が終わり涙ぐまれる中島ミツエさん(104)

入所者の中で、百歳を超える方が三名おられ、紹介されると会場から感嘆の声と拍手が沸き起りました。

式典のはじめに福田理事長より「年を重ねるほど心身共に豊に過ごしていただき、百歳という目標を持って長寿を全うしてください」と祝辞がありました。それを受けて

入所者代表の中島ミツエさん(104)が「日本の長寿を目指し余生を楽しみたい」と笑顔で謝辞を述べられると会場からは温かい拍手が送られました。このほか式典に出席された皆さんには、家族会や施設から記念品が贈呈されました。



余興を笑顔で視聴される源田アキエさん(91)

式典後には職員による踊りや歌が披露され、会場は長寿を祝うめでたい雰囲気になりました。介護職員 植原智樹

懐かしい民謡慰問

9月23日(木)「ひよこの会」による踊りや民謡の慰問があり「炭鉱節」や「黒田節」など計11曲が披露されました。

民謡「おてもやん」では、ほとんどの方が拍手子しながら一緒に口ずさまれ、大木交七さん(90)は「いいぞお うまいよ」と笑顔で歓声を上げていました。



老人福祉施設を中心に活動されている「ひよこの会」の皆さん

「八代おざや節」では地元の唄という事で皆さん懐かしそうに聞きいつておられました。

「牛深ハイヤ節」は三味線と太鼓のリズムよい民謡で、中には踊りだそうとされる方もおられ楽しい雰囲気となりました。橋口ユキ子さん(82)は終始真剣に聞かれており「懐かしかったあよかったです」と笑顔を見せられました。

介護職員 小川雄二

私は誰でしょう?



ヒント；私は、入所棟に勤務してる女性職員です。これは20代の写真です。当時は、友達と温泉によく行っていました。今は、月2回程入吉市内の観音様巡りに行っています。これからも若さを保ちながら介護の仕事頑張りたいと思います。

* 9月号の正解は、松永恵美子さんでした。



栄養満点

冷たいパフェはいかがですか ～ 一日喫茶 ～

残暑がまだまだ厳しい9月8日（水）に一日喫茶を開店しました。今回は、冷たいデザートを提供しようと「フルーツパフェ」を尚絅短期大学の実習生と考案しました。

入所者の皆さんに楽しんでいただけるよう飾り付けをした屋台を構え、パフェを提供しました。パフェにはソフトクリーム、バナナ、みかん、黄桃、マンゴーを盛りつけ、フルーツソースとチョコソースを添えました。

皆さんから「珍しいね」「冷たくておいしいね」などの声が上がりました。

店を閉める頃には「またパフェを食べたいな」とのリクエストがあり、実習生も笑顔でこたえました。

栄養部ではこれからも四季にあわせて皆さんに喜んでいただけるおやつをお届けします。



パフェを片手に笑顔の中山美子さん（76）

管理栄養士 江上まどか

委員会紹介

褥瘡予防委員会

メンバー構成

ケアマネジャー	1名
看護職員	1名
介護職員	4名
栄養士	2名

委員会の目的

高齢者の中には、身体状況によって褥瘡（床ずれ）の起こりやすい状態になる方がいらつしやいます。当委員会は、褥瘡

委員会の取り組み

予防計画表を作成し、それをもとに日常介護で予防の実践を行い、それを評価して計画的な予防対策を実施しています。

発生リスクの高い状況にある入所者に対し、褥瘡発生ゼロを目指す為に活動しています。

最後に

褥瘡の予防には、チームケアが大切になってきます。全職員で予防できるように委員会を中心に今後もしっかりと実践していきたいと思ひます。

発生リスクの高い状況にある入所者に対し、褥瘡発生ゼロを目指す為に活動しています。



委員長 田川裕子（看護職員）

現在取り組んでいる事

オムツかぶれゼロを目標に軟膏の塗布を行なっています。臥床時の体位や座位保持の工夫、クッションの使用方法なども検討しています。

祝 おめでとございます
～10月の誕生者～

坂本 マツエ様

(T 4.10.25 95)

広報紙における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。